



ながしま

議会だより

NO.31



ツルの北帰行 シーズン到来

2月5日、今シーズンのツルの北帰行が始まった。
初陣の数十羽は午前10時20分ごろ行人岳北側を通過。
天草、長崎方面へと旅立って行った。
(行人岳から出水方面を望む)

12月定例会

(H25.12.6 ~ 12.18)

議会意見交換会	2~5
定例会で決まったこと	6~8
要望活動を実施	9
施策を問う(一般質問)	10~13
決算特別委員会の審査報告	14~15
常任委員会の審査報告	16~17



町民と議会がまちづくり等の意見を交わす（川床小校区）

町民と議会の 意見交換会開催

長島町議会は10月28日から31日の4日間の日程で議会意見交換会を実施した。議員が5人単位で3班を編成し、小学校区ごとに10会場に出向き、会場に集まった町民207人と意見を交換した。

町民から出された意見等に会場で回答できるものは回答し、回答できなかったものは調査したうえで後日、回答することとした。

今回の意見交換会で出された意見等の主なものは次のとおり。

▼教育関係

Q 長島本島地区の小・中学校統廃合は（川床・田尻・鷹巣・本浦・汐見・城川内・蔵之元・平尾）

A 教育委員会で統廃合の枠組み、場所の計画が示された。中学校は1校として、長島高校跡地へ。田尻小学校は川床小学校に統合、本浦、伊唐小学校は鷹巣小学校に、長島中学校に汐見、城川内、蔵之元小学校が統合される計画。

Q この計画を長島町立小中学校等統廃合推進委員会に提案協議される。以降、地区別の統廃合推進協議会で統廃合に向けて推進される予定。

なお、統廃合は平成29年度の実施予定であったが、同時統合は無理で平成30年度までに終了する。

Q 小・中学校統廃合についてのアンケート調査は実施されないか。（汐見・城川内）

A 教育委員会の方針は、実施しない考えである。

Q 遠距離通学者の登下校時スクールバスの運行が必要では。（鷹巣）

A スクールバスの運行は、計画されている。

Q 長島町立小中学校等統廃合推進委員の任命権は。（汐見）

A 教育委員会が任命する。委員数は31人で、町議会代表、町長部局代表、教育委員会代表、小中学校代表、その他町の各種機関の代表者をもって組織される。

Q 長島高校跡地活用について、スポーツ振興のため体育館、グラウンドを部分開放して

ほしい。（平尾）

A 地域からの要望書が提出されれば内容検討し、開放について県と協議を行う。

Q 総合運動公園の整備計画は。（鷹巣）

A 整備に向けて鳥瞰図も作成されている。長島町総合運動公園整備検討委員会で、整備内容等協議されており、平成25年度中に結論が出る予定である。

Q 獅子島の小学校跡地活用について、福祉施設、民宿等に活用との意見もあるが。（獅子島）

A 宿泊施設等への活用となれば、現在、航路補助、周遊バスツアー事業への助成もしており、施設の利用促進が図られ、地元の活性化に結びつくのではないか。

Q 児童生徒のスポーツ活動への助成をして、選手の強化育成を望む。（鷹巣）

A 議会でも一般質問等で提言し、町もスポーツ選手の強化育成支援の方向である。また、奉仕団体ライオンズクラブ等は、青少年育成制度を設けている。

▼防災関係

Q 災害時の予算措置および避難者への食糧・物資の確保は。（城川内）

A 現段階では予備費を計上しており、消消費や補正予算等も考慮。

Q 高潮対策について、大潮時に連絡道および道路の背後地が冠水する。対策は。（伊唐・本浦）

A 高潮被害は、全国的な現象で国も現状把

握や対策について検討している。

伊唐北港の道路冠水に対しては、総合整備事業で嵩上げが可能である。

浸水する人家を救済するなど、他のハード面の整備については、国の補助制度がないので補助事業の創設を要望・陳情を続ける。

議会としても、町と並行して国に対し要望・陳情を行う。

Q 船津平地区の避難道路を早く整備できないか。（蔵之元）

A 町道船津平線は、地震による津波が発生した場合に、避難道として有効な道路といえない状況である。地区民の安全を確保するため、町としては有効な道路整備について再度集落と協議したい。

Q 原子力発電事故に

対する対策は。(田尻)

A 川内原発から30km圏内の6自治体と九州電力間で「原子力防災に関する協定書」を締結している。

今後の川内原発の再稼動について議会としては、原子力規制委員会の安全審査および国、県、関係市町等の動向を注視しながら慎重に議論を重ねたい。

Q 東分遣所の場所、補助制度の活用について。(鷹巣・平尾)

A 鷹巣地区に3カ所の候補地があり検討委員会を選定される。町では、建設費の財源確保に向け努力中である。

▼産業・道路関係

Q 県道平尾川床線の改良工事の見込みは。(川床)

A 町も県へ要望しており、議会も早期完成

に向けて努力するので、川床地区、平尾地区からも要望活動をしていただきたい。

Q TPPの問題について、議会も県、国に反対陳情したらどうか。(蔵之元)

A 議会は、第2回例会で国に慎重に対応するように意見書を提出した。

Q 町は第1次産業の振興を掲げている。バレイショで50億円の生産額を上げるような施策等、長島の農業の方角づくりが必要と考える。また、農業用水の確保が重要である。ダム建設等の考えは。(汐見)

A 旧長島町で干害用水の建設計画があったが、着工直前に中止された経緯がある。町長は、ファームポンドを必要箇所に設置する考

えである。また、既存のため池の整備を進めている。

Q 3県架橋実現に向けての現状は。(汐見)

A 3県架橋の早期実現に向けた運動は継続中で、毎年促進大会も実施されている。また、議会としても関係省庁へ要望活動を行っている。

Q 獅子島架橋について、国、県等への陳情活動の状況と架橋前の当面の交通の利便性の促進策は。(獅子島)

A 期成会、町長、課長等が関係省庁へ毎年要望活動を行っている。また、県の離島振興計画の中に、獅子島架橋に係る事項が掲載された。町においては、現在、フェリーの運賃補助を行い、島内一周道路整備についても逐次推進する計画で

ある。

Q 荒地対策について、長期的なビジョンで作物作付け推進が必要と思われるが。(獅子島)

A 新規作物として、獅子島地区の気象条件に合ったオリーブ作りに着目し、今後取り組みを検討している。

Q イノシシの処理加工施設の建設はできないか。(獅子島)

A 阿久根市では猟友会組織で処理加工施設を建設している。加工肉の販売面でも課題もあるようなので意見をもち帰り検討する。

▼生活・施設関係

Q 庁舎について、現在の「分庁方式」を維持できないか。(城川内)

A 「長島町町有施設のあり方検討委員会」

の答申は、鷹巣庁舎を本所、指江庁舎を支所とする「本所、支所方式」へ移行し、併せて行政組織を再編して事務の効率化を図るとある。

議会としては、答申を尊重し、地域の特性を生かし、住民サービスの低下を招かぬよう対策を見守る。

Q 妊婦が出産により里帰り、また町外での保健指導を受ける場合、有料もあつたが支援はどうなっているか。(蔵之元)

A 原則無料であるが、助産師の指導等を受ける場合、有料もある。

Q 少子化が進み人口減少が続いている。人口増加対策は。(田尻)

A 本町の出生率は2・05人で県内では高い水準にある。小中学

校の児童・生徒数は約1000人である。

定住促進対策として、町営住宅を建設、本年度3戸計画(町営・公営住宅総数は134戸)。また、空家活用対策事業として助成事業を実施しているのを活用してほしい。

Q 役場を定年退職された者が在籍しているが、議会の考えは。(汐見)

A 定年退職後5年間65歳までの再任用制度を条例で定めている。定年退職者で在籍している者は、特命で任命されている。

Q 現在の鷹巣診療所は、補助金適正化法により原則取り壊しはできないようであるが、新設される診療施設については、現在の診療科目のほかに産婦人科、眼科、皮膚科等の

診療科目も導入してほしい。(鷹巣)

A 現在、出水地区内でも医師不足の状態。川床診療所も休診中である。医師の確保についても議会で調査等を行い、今後の建設検討委員会(仮称)の検討状況を見守っていく。

▼観光関係

Q 町木・町花の推進状況および石張りとおわぶき植栽の目的は。(城川内・蔵之元・平尾)

A 町木は椿、町花は水仙であり、公園等を設置し推進している。また、石張りとおわぶき植栽の目的は、景観と道路の維持管理の軽減対策のため実施している。

Q 若者の花嫁対策交流イベントおよび獅子島ウォーク等、3大イベントの開催の継続を。(田尻・獅子島)

A 花嫁対策事業は、本島、獅子島地区で年1回開催、これまで10組の成婚があつた。若者の積極的な参加を期待する。

獅子島ウォーク等3大イベントについては、意見を持ち帰り、今後の施策にも生かせるよう努める。

▼財政関係

Q 財政状況について、町債残高が154億円とあるが、議会はどのように考えているか。(城川内・田尻)

A 町債については、町の財政指数の推移を確認しながら見守っていく。また、平成23年度に比較して、平成24年度の上昇については、獅子島小学校の建設並びに町道整備等公共事業の増によるものである。

意見交換会を終えて

2回目の意見交換会を10小学校区で開催し、各会場から多くの意見や提言をいただき、公民館長をはじめ関係者各位のご協力に對し厚く感謝申し上げます。

今回は、意見交換のテーマを、議会と地域の協議により設定したところであります。

特に、長島本土の小中学校統廃合実施計画が本年度作成されることから、小中学校の統廃合に関する意見が多くの会場で出されたところであります。

意見交換会が終了した直後の議会定例会で、教育委員会から小学校4校の枠組み、中学校1校の場所の素案が一般質問に対する答弁で明らかになりました。今後は、31人の委員で構成された「長島町

立小中学校等統廃合推進委員会」での協議を経て答申がなされることとなります。その間、各地域においても説明会や協議等が開催され、統廃合が真に子どもたちの教育のためとなるよう議会も皆さまとともに考えていきます。

また、川内原子力発電所に関する防災対策や地震・津波対策も町民が安心した暮らしが確保できるような施策を進めなければなりません。

今回の意見交換会で出された数多くの意見は、今後の議員活動や町政に対する政策提言に生かしていきます。

今後も、議会に対してご支援、ご協力をくださるようお願いいたします。

今後は、31人の委員で構成された「長島町

夢追い獅子島架橋基金の積立などに 3億3100万円を追加

平成25年度一般会計予算総額100億6037万円

平成25年度の一般会計補正予算のほか、国民健康保険、国民健康保険診療施設、へき地診療施設、介護保険、簡易水道、農業集落排水、漁業集落環境整備、特定地域生活排水処理、後期高齢者医療の9特別会計補正予算を原案可決した。

今回、計上された予算の主な事業は次のとおり。

主な事業

- 議会中継の映像配信システム使用料・・・・・・・・・・29万円
- 夢追いふるさと長島景観基金の積立・・・・・・・・・・1億2,000万円
- 夢追い獅子島架橋基金の積立・・・・・・・・・・1億0,250万円
- 分散型エネルギー調査費・・・・・・・・・・42万円
- 黒之瀬戸大橋開通40周年記念事業の負担金・・・・・・・・40万円
- 離島航路の運営補助（波戸汽船、獅子島汽船、天長フェリー）・・・1,628万円
- 子ども医療費助成の増額・・・・・・・・・・300万円
- 保育士の処遇改善に取り組む保育所への交付金・・・・・・・・829万円
- 葛輪、幣串、薄井漁港の県営事業負担金・・・・・・・・5,244万円
- 町イチ！村イチ！観光、特産品PR・・・・・・・・・・40万円
- 水道施設整備の用地代、漏水修理等原材料代・・・・・・・・446万円
- 鳥獣（イノシシ、カラス、ヒヨドリ）被害防止緊急捕獲対策事業・・・446万円
- 県道長島宮之浦港線（母良木）沿いの荒廃竹林整備・・・・・・・・37万円
- 公民館要望等に伴う道路補修・・・・・・・・・・300万円
- 住宅（城川内幼稚園跡）改修による進入路整備・・・・・・・・410万円
- 長島中学校吹奏楽器の購入・・・・・・・・・・200万円
- 土地改良事業の県営事業負担金（伊唐、蔵之元、下山門野）・・・1,438万円
- 長島宮之浦港線、葛輪瀬戸線整備に伴う県営事業負担金・・・1,020万円



開通40周年目の黒之瀬戸大橋



荒廃竹林の整備（母良木）



住宅用進入路の整備（城川内）



農道保全対策（伊唐大橋）の現地を調査する建設経済文教常任委員会

平成25年第4回長島町議会定例会は、12月6日から18日までの13日間の会期が開かれた。

平成25年度の一般会計補正予算（3億3100万円追加、総額100億6037万円）や特別会計補正予算、長島港（口之福浦地区）工事請負契約の締結、長島町ひとり親家庭医療費助成に関する条例の一部改正など議案14件、発委1件を可決した。

このほか、人権擁護委員候補者推薦の諮問2件を答申。川内原子力発電所に関する陳情2件は継続審査とした。



主要8項目を国等へ要望

長島町議会は1月15日、16日の2日間、代表者が上京し、町と連名で政府・国会議員に対して、獅子島架橋の建設や社会資本整備総合交付金事業の拡充など8項目の要望活動を実施した。

なかでも、近年の異常気象による被害や価格低迷等による農家の栽培意欲減退が深刻な状況にある野菜（主にバレイショ）の価格安定対策は、議会と町担当部局が幾度となく協議を重ねて要望書を作成し、提出した。

国等への要望活動を実施

野菜価格安定対策について

長島町の基幹作物であるバレイショは、近年の異常気象に伴う低温害や春先の長雨による収穫量減少等のほか、他産地との競合による価格低迷が続き生産経費すら回収できない状況に至っており、農家の栽培意欲減退がみられ、農家経営や産地の維持が困難になっております。このような中、国の野菜価格安定制度を活用し補助金の給付を受けておりますが、補給金単価が低く経営改善には至っていません。

現在の野菜価格安定制度によるバレイショの保証基準額の算出方式は、全国市場を一括した価格での計算となっておりますが、本町のバレイショの出荷先は関東、中京地方が主であるため、他の指定野菜算出方式と同様に出荷市場を各ブロックごととし、ブロック単位での平均価格、保証基準を算出し、出荷の実情に応じた給付金の交付がなされるよう見直しをよろしくお願い申し上げます。

このほかの要望事項

- 獅子島架橋建設について
- 社会資本整備総合交付金事業の拡充について
- 再生可能エネルギーの導入支援について
- 長島町漁港関連事業について
- 農業農村整備事業の推進について
- 離島等医療・福祉推進モデル事業の継続について
- 国立公園を正しい名称へ

要望書の提出先

総務大臣、環境大臣、国土交通大臣、農林水産大臣、総務省、環境省、国土交通省、農林水産省、水産庁、地元選出国會議員



議員定数は16→14へ

長島町議会議員は、平成26年4月22日をもって任期満了となる。

長島町議会は平成24年12月の議会定例会で、行財政改革の一環として議会自らの提案により、長島町議会議員定数条例の一部を改正した。

これにより、長島町議会の議員定数は16人から2削減し、14人となり、次回の一般選挙から適用される。

契約

長島港（口之福浦地区）の港整備

社会資本整備総合交付金工事 長島港（口之福浦地区）を1億2547万5千円で株式会社長崎組と契約締結することを議決した。



口之福浦の港を整備

規則

一般質問を一問一答方式へ変更

平成25年第4回長島町議定会定例会から、議事本会議での一般質問を一括答弁方式から一問一答方式に変更するため、長島町議事会会議規則の一部を改正した。



本会議場の質問席

条例

ひとり親家庭医療費助成に関する条例の一部を改める

「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」が、「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律」に名称変更されたことに伴い、長島町ひとり親家庭医療費助成に関する条例の一部を改正した。

税関係条例の整備に関する条例を制定

地方税法の一部改正により、地方税に係る延滞金の利率引き下げが行われることに伴い、地方税法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例を制定した。

浄化槽事業に関する条例等の一部を改める

消費税及び地方消費税の税率が改正されることに伴い、長島町浄化槽事業に関する条例等の一部を改正した。

諮問

人権擁護委員候補者の推薦

人権擁護委員の長山久義氏（母良木）が平成26年3月31日で任期満了となるため、引き続き同氏を人権擁護委員の候補者として推薦するための意見を諮問されたので、適任者として答申した。

人権擁護委員候補者の推薦

人権擁護委員の小森芳裕氏（唐隈）が平成26年3月31日で任期満了となるため、同氏の後任として浜田幹男氏（汐見）を人権擁護委員の候補者として推薦するための意見を諮問されたので、適任者として答申した。

一般質問

町政を問う

一般質問

小川 武男 議員



町制10周年記念イベントの計画は

小川議員 合併10周年の節目を迎えるにあたり、特別なイベントの計画があるか。

答弁 町長 町民みんなでお祝いすることを念頭に、町民の意向を伺い具体化していく。

10周年記念に町民歌、町民音頭の制作を

小川議員 合併10周年記念事業として町民

歌、町民音頭の制作ができないか伺う。

答弁 町長 町民歌は、町民の融和や長島町民である一体感をつくるためにも必要であり、合併10周年をめぐりに制作したい。

町民音頭や踊り等は、町民歌ができた後に機運が高まれば検討する。

「第30回国民文化祭かごしま」への取り組みは

小川議員 「本物、鹿児島県文化維新は黒潮に乗って」のテーマで平成27年10月31日から11月15日まで開催されるが、本町の取り組みを伺う。

答弁 町長 本町では、「黒潮の恵み、花と食と造形の祭典」と称し、長島造形美術展と花フェスタを中心に本町の町づくりへの取り組みや、農水産物など食の情報発信を行っていく。

郷土芸能の保護・伝承を

小川議員 本町には祖先が残してくれた多くの郷土芸能がある。しかし、現在では後継者が少なくなり衰退気味である。今後は、町の無形文

化財に指定して継承する考えは。また、各種イベントで披露することはできないか伺う。

答弁 町長 郷土芸能保存は、少子高齢化に伴い担い手不足である。郷土芸能育成に必要な資料の修理や購入に対し、県文化振興財団の事業の導入や公民館チャレンジ事業の活用を進めていく。

どの市町村も無形文化財の指定は少なく、消滅が危惧されるものはビデオ撮影し、DVD化して保存に取り組む。

また、国民文化祭で郷土芸能の披露も計画している。

太陽の里ピクニック広場にステージを

小川議員 太陽の里ピクニック広場に自然にマッチした常設のイベ

ントステージの建設ができないか伺う。

答弁 町長 ピクニック広場の整備は年次的に行ってきた。今後も周辺整備を計画しており、イベント等が増え、必要とする機会が増えるまで仮設で対応し、利用空間に柔軟性を持たせておく。



造形美術展が開催される太陽の里ピクニック広場

学校の統廃合は計画どおり推進できるか

小川議員 小中学校の統廃合は、当初計画に

を続けるのがいいか、他にも交流の仕方があるのではないかと考えている。

小中学校統廃合の進捗状況はどうなっている

下塩見議員 平成21年2月に長島町立小中学校等の規模配置の在り方検討委員会からの答申を受け、基本計画が推進されている。平成29年度開校に向けて間に合うのか。

また、今後の枠組みの中で長島高校跡地活用の考えも含め、現在の進捗状況についてはどうなっているのか。

答弁 教育長 長島町定例教育委員会、中学校は平成29年度に長島高校跡地に統合する枠組みの案を作成し、12月中旬に長島町立小中学校等統廃合推進委員会に提案して、今年度中に方針や実施計画を策定する予定である。

沿った推進ができるのか。

また、統合小中学校の枠組み、場所、その内容を伺う。

答弁 教育長 統廃合の機運が醸成したところから年次的に進めていくのが現実的である。最終年度を平成30年度と考えている。

統合小中学校の枠組みの教育委員会の案は、まず中学校は平成29年4月に長島高校跡地に開校、小学校4校は、現在の鷹巣小学校に本浦小学校と伊唐小学校、川床小学校に田尻小学校を、城川内小学校、汐見小学校、蔵之元小学校は、現在の長島中学校に統合する計画案で、長島町立小中学校等統廃合推進委員会に提案する考えである。

下塩見議員 今後、小学校再編委員会の未設置校区の説明会はどう考えているか。

答弁 教育長 小中学校の枠組みについても決定後は各校区説明会をする必要があると思うので、子どもたちの立場に立ち、ご理解いただけるよう進めていきたい。

下塩見議員 説明会の参加者が少ない、人が集まる場所（集落総会・PTA総会）での説明会の開催はできないか。

答弁 教育長 周知の方法や、夕方忙しい時間帯、寒い時期等悪い条件が重なってしまった。今後の説明会については、改善や工夫する必要があるのかを考えてみたい。

一般質問

自主防災組織の強化と訓練活動の実情は

下塩見議員 自主防災会長の研修や周知はどうなっているか。

答弁 町長 行政連絡員や自治公民館長の会議等で、自主防災組織の説明やお願いをしている。

下塩見議員 年度ごとの関係書類のチェック体制はどようになっていくか。

答弁 町長 現在、的確な対応は行っていない。今後は、地域応援隊を活用し、自治公民館長の交代や関係書類の引継ぎ等

の確認ができる体制を研究したい。

下塩見議員 地域防災マップは、いつ配布するのか。

答弁 町長 原子力関係の情報も含め、平成25年度内には全戸へ配布する予定である。

下塩見議員 低地にある避難所の問題や機器の充実、避難道路の整備についての考えは。

答弁 町長 避難所の見直しについては、個々具体的に検討している事項もある。財政的な問題や

土地の問題等解決しなければならぬこともある。

下塩見議員 海抜表示板の設置について、まだ要望があるが今後の設置の考えは。

答弁 町長 集落からの要望があれば、必要な箇所には設置する。下塩見議員 町で防災の日を制定し、集落単位で年1回以上必ずそれぞれの災害に備えての実技訓練や机上訓練を実施させることはできないか。また、その訓練の報告書の提出をマニュアル化できないか。

答弁 町長 防災の日の制定については、消防団や公民館長の会で相談する。訓練の実施については、行政連絡員の会議の中で、集落の年間活動計画を実施していただき

いと強くお願いしていきたい。報告書についても、訓練が実施できればできると思う。

国際交流事業の今後の実施はどうする

下塩見議員 韓国吉祥面交流事業について、児童生徒はホームステイや学校訪問で交流をし、目的に沿った成果もあげている。諸事情もあり平成22年度から実施されていない。

今後の国際交流事業について、どう考えているか。

答弁 町長 吉祥面は口蹄疫の発生地で、国が清浄国と認められない以上、必要性は認められているが、今の状況でそれぞれの団体や住民の理解は得られにくいので、強行にすることは考えていない。今後、危ない所と交流



古田 一博 議員

町運動場（城川内）から国道への出入り口の安全対策

南側駐車場から右折車輛の事故防止

古田議員 見通しが悪く、いつ事故が起こってもおかしくない状況であるため、運動場の斜面を削るなり、思い切った対策の必要性を問う。

答弁 町長 工法の検討が必要であり、前向きに検討し実行していく。

運動場での大会における送迎車輛の乗降対策
古田議員 町内の小学生の陸上記録会に利用される大型バスの駐車スペースが無いため、子どもたちが降り降りする間、渋滞をまねき危険な状況であり、安全について伺う。

答弁 町長 乗降対策も同じ視点で考え、入り口側を広く取ることによって問題解決できると思う。

駐車場が不足しているため、耕作道、作業道路の改良も含めて、全体的に対応していく。



見通しの改善が望まれる城川内運動場入口

薄井地区内交差点の交通安全対策

古田議員 薄井地区内の県道と町道の交差点の交通安全対策としてのセンサーでキャッチできる信号機の設置はできないのか。

答弁 町長 薄井港線の道路改良に伴い、警察と協議し安全対策の目的で信号機設置について、できる方法を探す努力を約束する。



カーブ内に交差点がある県道（薄井）

看板のリニューアル

古田議員 道路案内板を含めた看板の点検、見直しについては、合併してから8年、いまだに合併前の古い看板、書かれている文字が読めない看板、汚れた看板など多い。

答弁 町長 名称の変更、文字の欠落したものの、再度総点検をし、撤去するもの、書き換えるもの、至急実施する。

確認して、撤去するなり見直しをすべきではないか。

町および関係団体が主催するイベントの取り扱い

田中議員 町内外から多数の観客動員で、道路幅員の狭隘（特に葛輪瀬戸線の加世堂バス停から国道389号の瀬戸信号機まで2.7kmおよび平尾川床線等）で交通渋滞を招く。その解消を急げ。

①造形美術展の正確な入場者把握のため入場料有料化は考えられないか。

②信号機を通行量に合わせて調整できないか。また、帰路に合わせて

警備員配置による緩和はできないか。

③県道改良により車両の流れをスムーズにできないか。葛輪瀬戸線山門野まで長蛇の列で信号機を通過するまで長時間を要するため不便をきたしている、苦言を呈する人もあった。

また、行人岳線町道改良も進み、県道杉ノ段川床間が未改良で狭路で大型車両通行に不便をきたしている。

答弁 町長 ①有料化については、実行委員会での議論がたびたびな

されたが、無料で実施すること多数で決定した。

②信号の調整、警備員の配置、各関係機関と協議のうえ、対応していく必要があるかと思う。

③町道改良については、平尾杉ノ段区間は平成22年度で整備済みであるが、未整備区間については、拡張工事の予算確保に向けて要望活動を模索して実施できるように努力していく。

傍聴においでください

次回定例会は **3月上旬** 開会予定です

長島町議会の本会議は公開されていて、どなたでも傍聴することができます。

次回定例会は、3月上旬の開会を予定しています。皆さんの傍聴をお待ちしています。

なお、役場ロビーや長島町ホームページでも議会中継を見ることができます。



平成24年度 決算を審査

決算特別委員会の審査報告

第2表 特別会計の収支の状況 (実質収支額)

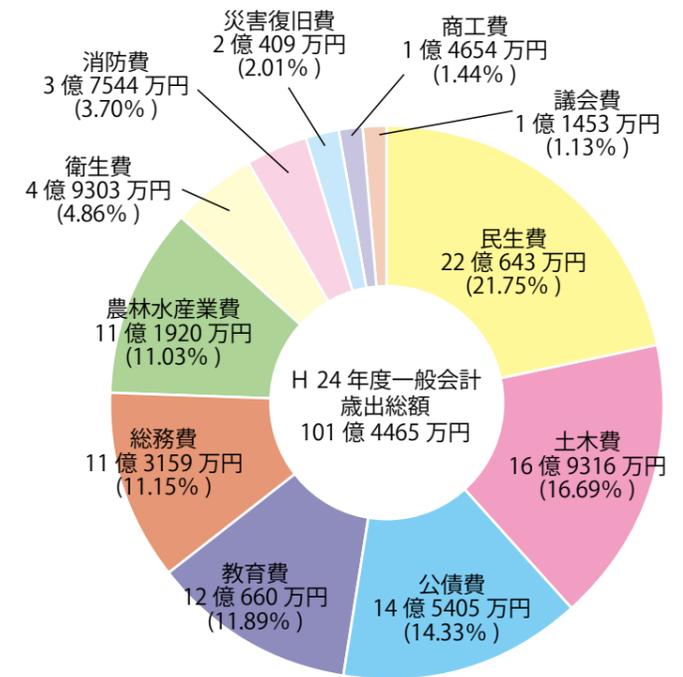
会計別	歳入総額	歳出総額	翌年度へ繰越べき財源	実質収支額
国民健康保険特別会計	2,220,494,411	2,032,163,750	0	188,330,661
国民健康保険診療施設特別会計	408,503,788	391,978,394	0	16,525,394
へき地診療施設特別会計	85,866,296	83,449,600	0	2,416,696
介護保険特別会計	1,187,763,680	1,126,108,450	0	61,655,230
簡易水道特別会計	544,336,689	516,553,900	130,000	27,652,789
諸浦港埠頭特別会計	11,774,488	3,766,796	0	8,007,692
農業集落排水特別会計	66,459,525	64,637,885	0	1,821,640
漁業集落環境整備特別会計	43,540,519	42,560,944	0	979,575
特定地域生活排水処理特別会計	46,403,599	41,915,198	0	4,488,401
水産種苗供給特別会計	43,537,988	22,730,301	0	20,807,687
後期高齢者医療特別会計	131,634,312	131,185,378	0	448,934
合 計	4,790,315,295	4,457,050,596	130,000	333,134,699

※第1表の金額の欄は、各項目とも円単位で計算した額を万円未満四捨五入して計上しているため、合計額等が一致しない場合がある。

※この報告は、一般会計・特別会計の状況を記載しており、普通会計の概要を掲載してある広報ながしま1月号の報告数値とは異なる。

用語の解説

- 歳入 会計年度における地方自治体等の収入
- 歳出 会計年度における地方自治体等の支出
- 総務費 全般的な管理事務、企画調整事務、財政事務、選挙事務などの経費
- 民生費 社会福祉、身体障害者、老人福祉、児童福祉などの経費
- 衛生費 保健事業、感染症予防、廃棄物処理などの経費
- 農林水産業費 農・林・漁業振興対策の経費
- 土木費 道路、橋りょう、河川、港湾、公営住宅などの経費
- 消防費 消火、防災防除、災害時被害軽減などの経費
- 教育費 教育委員会、小・中学校、社会教育などの経費
- 公債費 事業を行うために借り入れたお金の償還金



第1表

一般会計歳出の状況 (目的別)

歳入決算構成の状況を自主財源と依存財源に分類すると、自主財源は20億5756万3000円で18・71%となっており、対前年度比1・4%とわずかに増となっているが、依存財源は81・29%と依然として高い割合である。

歳出の決算額は、101億4465万4501円で、予算に対する執行率は89・71%となっており、翌年度への繰越11億240万4000円を考慮した執行率は99・46%となっている。

目的別にみると構成比の大きい順に、民生費22億643万6053円で21・75%、土木費16億9316万9315万6720円で16・69%、公債費14億5405万404万1999円で14・33%である。

一方3月末の基金積立高は、47億3510万1000円である。

各種財政指数は、財政力指数0・18%、実質公債費比率は9・5%、財政構造の弾力性を判断する経常収支比率は87・7%であり、

平成25年第3回長島町議会定例会において、決算特別委員会に付託された平成24年度長島町決算の認定について一般会計および特別会計の決算審査の経過と結果について報告する。

当委員会は、去る10月22日から11月8日まで、現地調査を含め実質5日間の日程で審査を実施した。

審査にあたっては、平成24年度の予算が議決された目的に従って適正に、そして効果的に執行されたか。また、今後の行政運営において、改善工夫がなされているかを主眼として審査を行った。

歳入については、歳入確保に努力し、その実績が上がっているか。特に町税においては収入未済額が出た原因は何か、不納欠損処分は適正に行われたか、町税徴収の体制は十分に図られたか。また、その他収入確保の努力は十分であったか。

歳出については、適法、適正に支出されて

◎決算特別委員長 下塩見 浩

対前年度比2・1%の増となっている。

財政構造健全確保からすると経常経費の支出割合が高く、厳しい財政状況にあると言える。

特別会計の決算状況については、第2表のとおり。

財産に関する調査については、土地、建物、物品、基金等は目的に従って、適正に管理されていた。

現地調査は、長島港(諸浦地区)港整備交付金工事他15件について実施した。町民のニーズに答え社会資本整備に努め、その成果が上げられているものと判断した。

委員会のまとめとして、平成24年度決算において「長島町総合振興計画」後期計画の初年度として、町道や農道の補修事業など景気対策および雇用対策に積極的に取り組む、この結果、普通会計で4年連続100億円を超える決算となっている。

財政運営については、計画的に弾力性の確保と積極的な行政水準の向上に努力されている

いたか、不用額は妥当であったか、補助金の効果は上がったか、補助金を重点に審査した。

現地調査は、各事業が予算どおり適性に執行されているか、産業振興や地域振興に効果が上がっているか、公共施設の整備は計画的に進められているか、その他の施設が十分活用され、管理は適正にされているかなどについて調査を行った。

その主な施策事業について、平成24年度は「長島町総合振興計画」後期基本計画のスタートの年でもあり、過疎、辺地計画に基づき計画どおり事業が実施され、町道や農林道改良事業、港湾整備、景気対策や雇用対策が図られ、夢と活力のある町づくりが達成されていた。

平成24年度の一般会計の決算状況は、歳入総額10億8925万3802円、歳出総額10億1446万5450円、差引残高が7億478万8527円で、翌年度へ繰り越すべき財源が2

が、本町の財政状況は、地方交付税などの依存財源に頼っている状況で、依然として厳しいと言える。

今後も自主財源の確保に積極的に取り組み、町税の収納率アップを図りながら、歳出においても経常経費の削減も図りつつ、計画的かつ効果的な町づくりを目指し、更なる努力を高めていきたい。

最後に委員会の意見として、公営、町営住宅の入居について、住宅に困っている人が多いなか、長年にわたり入居されている方や、長期にわたる家賃の滞納者防止を含め、5年ごとの更新制度や法律の範囲内で入居条件の見直しなどを行い、平等に入居できるように体制づくりや指導をお願いしたいとの意見があった。

以上で審査を終わりに採決の結果、平成24年度長島町決算の認定については、全員一致で認定すべきものと決定した。

億684万3000円で、実質収支額は5億4104万円の黒字。これから前年度実質収支額を控除した単年度収支額は1849万2000円の赤字である。

なお、歳入総額の予算に対する収入済み率は96・33となっている。

自主財源である町税の収入額は8億595万8970円で、対前年度比2198万8484円の減額、歳入総額に対する構成比は7・89%である。

また、町税の不納欠損として26万1500円が地方税法に基づき処分がなされているが、税収入の確保と税負担の公平を図る上からも効率的で有効な徴収を行うことが望まれる。

歳入で最も大きな構成比は、地方交付税で48億9443万3000円、収入全体の44・93%であり、対前年度比8720万7000円の減となっているが、本町の財源の地方交付税への依存体質を示すものである。

町債は17億140万円、対前年度比26・67%の増となっている。

常任委員会の審査報告

各常任委員会の主な審議内容を紹介

総務民生常任委員会 委員長 小川 武男

▼総務課関係

地方税法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

問 延滞金が引き下げられる理由は。

答 現行の「消費税額を乗じて得た額」の表現を「消費税額に地方税法の規定による地方消費税を加えた額を加算した額」に改正するもの。

問 延滞金が引き下げられる理由は。

答 社会経済の低金利状況に合わせて納税者の負担を軽減するもの。
これまでの延滞金14・6%を9・3%に、納期限後1カ月以内の早期納付7・3%を3%に利率引き下げが行われるもの。

▼企画財政課関係
問 黒之瀬戸大橋開通40周年記念事業費に40万円計上しているが内容は。

答 この4月で開通40周年を迎えるので、4月2

日にだんだん市場の駐車場で式典の開催を阿久根市と共催で計画している。

問 離島航路に対する補助金1628万4000円の内容は。

答 波戸汽船に377万8058円、獅子島汽船に460万2253円、天長フェリーに790万3000円を運営費に補助するもので、天草市からの補助はない。

▼税務課関係
問 過誤納還付金250万円計上しているがその内容は。

答 法人町民税の確定申告に基づく過誤納金の還付や所得税修正申告に基

づく個人住民税の過誤納に係る還付である。

▼町民福祉課関係
問 児童措置費の保育士等処遇改善臨時特例事業費829万4000円の内容は。

答 保育士の人材確保対策を推進する一環として、保育士の処遇改善に取り組み保育所へ資金の交付を行う。
今年度限りの事業で町内5保育園が申請している。

問 長島町ひとり親家庭医療費助成に関する条例の一部を改正する条例について

問 今回の改正の主な内容は。

答 同棲など生活の本拠を共にしていた交際相手との関係を解消したあとに引き続き暴力を受けた場合も該当し、結婚をしていなくても対象となる。

▼保健衛生課関係
問 母子保健事業費で364万7000円の内容は。

答 妊婦・乳幼児健診の受診件数、金額が昨年より1・5倍になっているために補正するもの。

問 平成25年度長島町国民健康保険特別会計補正予算 一般被保険者医療費266万1000円の内容は。

答 コルセット・柔整・はり・きゅう等の施術に伴う保険者負担分の増額によるもので、はり・きゅう券は146人に発行している。

▼診療所関係
平成25年度長島町国民健康保険診療施設特別会計補正予算

問 診療施設管理費1655万6000円、医療費1561万円の増額補正の内容は。

答 平尾診療所、鷹巣診療所とともに外来患者増往診患者増によるもので、平尾診療所は特に乳児や児童の患者が増えている。

▼議会事務局関係
問 議会映像配信システム使用料29万9000円の内容は。

答 議会中継システムがアナログからデジタル化となり、その映像配信システム使用料で、月に7万4550円の4カ月分である。

▼耕地課関係
問 農地費の中で、測量設計委託料を予算化しているが、職員が実際に測量設計を行ったことがあるのか。

答 事業量が多いのですべてを職員で行うことはできない。補助事業については、委託を行っているが、維持補

▼委員会所見
水産商工課所管の観光費で、観光係の職員が1名減となっているが、商工会や観光協会等と連携をし、年間を通じて平常業務や観光PR等を行う中で、十分な活動ができないの

ではないか。
今後、観光に力を入れていかなければならない時期に職員が不足しているのではないかと考えて努力をしてほしいとの意見があった。
また、教育総務課の事務局費関連で小中学校の統廃合で、平成29年度開校までの業務について、獅子島の統廃合の際にも校舎建設やスクールバス等非常に多大な事務量であったとの報告であった。
今回は、長島本島の計画であり獅子島のときよりも更に施設整備の問題等さまざまな課題が予想され、膨大な事務作業になると思われる。
統廃合の時期が遅れることのないよう職員体制の充実をはかってほしいとの意見もあった。

建設経済文教常任委員会 委員長 下塩見 浩

平成25年度長島町一般会計補正予算

▼水産商工課関係
問 観光一般経費で、町イチ、村イチの事業内容は。

答 主催は全国町村会で平成26年1月11日と12日の2日間、東京有楽町で観光PRおよび特産品の販売をする事業である。

鹿兒島県から9町村が出店し、事業費については、県町村会が100%助成する。

▼農林課関係
問 林業振興費の有害鳥獣捕獲事業で、町、猫友会、農協などと協議して処理場の建設は考えられないか。

答 町独自で処理場を設置すると人件費等負担が大きく、単独での設置は難しいと思われる。猫友会等で管理する施設であれば、町としても何らかの事業で対応できるのではないかとと思う。

問 捕獲の確認方法も北薩地区内で統一すべきではないか。

答 県（振興局）にも統一してほしいとお願

いしている。引き続きお願いしていく。

▼建設課関係
問 住宅建設費で、旧

城川内幼稚園への進入路整備について、現在の進入路の原形復旧の内容と新しく購入する土地の登記はどうなっているか。

答 所有者から更地にして返してもらおうように要望があった。工事内容は、ブロック塀を壊して住宅並みの高さに戻す工事である。

新規購入土地の登記については、内諾は得ているが、測量が済み次第契約する予定である。



町道補修の現地を調査（福ノ浦）



県道の集落排水管移設現場を視察（本町）

まちの話題



調理された特産品を来場者にアピール

長島の海・山の恵みと魅力をPR

1月15日、東京都港区のセレスティンホテルで、「ながしま美味（うんまか）でー」が開催された。

この催しは、バレイショやミカン、ブリ、ヒオウギ貝などの本町特産品を全国にPRし、販売を促進することを目的に実施された。

この日は、関東の市場関係者や国会議員、関東ながしま会会員らを招き、特産品をふんだんに使用したメニューを紹介し、販路の拡大策などの意見を交換した。

消防団員の迫力ある放水に歓声

新春恒例の長島町消防出初め式が1月12日に行われた。会場の鷹巣運動場には消防団員らが集結し、小隊訓練など日ごろの訓練の成果を披露。消防功労者らに表彰状が贈られた。

式典後には放水競技が行われ、各分団を代表した選手たちが標的目掛けて勢いよく放水すると、観覧席から大きな歓声が上がっていた。



小さな的を目標けて放水する消防団員

◆編集後記

昨年は、息子夫婦と初詣に出かけ、お腹の中の赤ちゃんが無事生まれますようにとお祈りしました。

今では、11カ月になり伝え歩きして、なんでも触るのでテーブルの上にも何も置けなくなりました。もう少ししたら歩くことでしょう。1年というのは早いものですね。

今年1年、議会の内容、報告をわかりやすく、町民の皆様にお伝えできるよう編集委員一同、一生懸命取り組んでまいります。

(古田)

【発行責任者】	植元 敏光
【編集委員長】	林 義明
【編集副委員長】	古田 一博
【委員】	川上 勇
	福永 伸親
	石橋 東